

決定したロゴマーク



「みらいをつくるば つくばみらい市」は、つくばみらい市に住む人々はいつも前向きに、自らでよりよい「みらい」をつくろうと暮らしている、そうした人々のエネルギーにあふれるまちを表現したものです。ロゴマークは、一人ひとりがみらいを想像する様子を、指でフォーカスする（焦点をあてる、着目する）ポーズで表現し、「太陽のように明るいみらい」をイメージさせるイエローでデザインしました。

決定したタグライン



①タグラインって？

タグラインとは、企業やブランドのコンセプトや主張を示すもので、ロゴマークに隣接して書かれている言葉、その企業やブランドがどんな価値を提供できるかを宣伝する言葉でもあります。また、時期やキャンペーン毎に変化するキャッチコピーなどとは違い、普遍的で、中長期的に変わらないものです。



▲ロゴマークをかたどったフォトフレーム。今後さまざまなイベントに登場予定。

シティブロモーションって
こんなこと

少子高齢化が進む昨今、日本の人口は減少の一途をたどっています。幸いにして当市は現在、人口が増え続けています。民間の経済誌が毎年発表している「成長力ランキング」でも、2年連続で全国第1位、2位を獲得するなど、高いポテンシャルを秘めています。しかしながら、当市もほかの多くの自治体同様、将来的には人口が減少することが予想され、市としても危機感を感じています。

このことから、市では、移住・定住の促進を目的に、シティブロモーション事業を強く推進しています。つまり、当市の魅

力を「ソト（外）」に発信することで、当市を知ってもらい、好きになってもらって、「ナカ（中）」に人を呼び込もうというものです。

事業をスタートさせた昨年度は「まずは自分を知ること」をテーマに「市内にはどんな資源があるのか、眠ったままのものがまだあるのではないか」という立場で、アンケート調査などを実施。それをもとに、魅力の分析を行ってきました。

その結果、市の魅力として、首都圏へのアクセス充実と自然豊かな環境が共存していることなどがあげられており、市民の皆さんが「未来」に対して高い期待を持って暮らしていることがわかりました。

移・食・住がかなうまち

今回、タグラインを決めるにあたり、キーワードとしたのが「移・食・住」です。【移】…都心からの移動が便利であるという点、【食】…地元産の食材が安心して楽しめるという点、【住】…恵まれた住環境が広がっているという点、この「移・食・住」に満足しているからこそ、市民は自分たちで未来をつくっていくこうとする「未来志向」を持っているのではないかと、「一人ひとりがみらいをつくり出せるまち」が市の魅力とも言えるのではないかと考えました。

こうした「市民が持つ未来志向」を踏まえ、市のタグラインとロゴマークを決定しました。

今後の展開

「みらいをつくるば」のロゴマークは、さまざまな「“みらい”をつくりだす可能性にあふれたモノ・人」に焦点をあてていきます。市内外のイベントやツールとして使用し、市外の方には「当市を知るキッカケに」、市内の方には「当市の魅力に気づくキッカケに」してほしいと考えています。

今後、さらなる移住・定住の促進を目的として、今回のロゴマークをもとに、さまざまな施策を展開していきます。その第1弾「シティブロモーション×広報つくばみらい」として、本紙の裏表紙に市民の皆さんも参加できる新たな企画を掲載しています。ぜひ、ご覧ください！